

平成22年度 自己評価の結果について

(公表シート)H23・3. 31

学校法人旭川カトリック学園 旭川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

1. 学校教育法に基づき幼児を教育し、キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。
2. キリストによって示された神の愛を知り、他者への祈りを通して世界観を持つ。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

目標

1. 自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としてのビジョンを明確化にする。
2. 幼児教育が人間形成の根を作る時期であることを教師と保護者が共有し、子どもを他者と比較することなく育てる。

計画

1. 給食の導入に伴い、園と園児と保護者で食育について深める。
2. 宗話を通して、教育目標を達成する。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
I 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	・園外保育の内容、回数を充実させている。 ・給食の導入に伴い、学年にあった食育を行った。 (お米とぎ、ご飯炊き・調理体験や栄養など)
II 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	・昨年度の評価から、朝の自由遊び時に、職員の配置をきちんと決めたので、緊張感を持って安全に配慮している。 ・『預かり保育』は、ただ預かるだけではなく、担当教師がいろいろなカリキュラムを組んでいるので、利用者の評価は高い。
III 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	・教師一人ひとりの資質をあげるために、行事の『企画—実施—評価』を徹底している。 (特に、成功した理由も分析している。) ・ミスがあった場合、原因を追求し、対策を立てる習慣をつけ、同じ間違いをしないように配慮している。
IV 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	・保護者との連絡を密に取るよう努力している。 ・連絡帳は、文章の表現から意思の疎通が難しく、誤解を招くことがあるので、電話で連絡するようにしている。

V 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。	・聾学校の中学生・高校生のインターンシップを積極的に受け入れている。
VI 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。	・年中組でモンテッソーリに取り組んでいるが、職員全員の理解が必要なので、園内研修でモンテッソーリ教育を実施した。 ・モンテッソーリ教育の研修会に、3名参加した。
VII 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。	・H21年度の評価を学年別の茶話会で、公表した。 ・H21年度の評価をホームページで公表した。 ・保育内容は、『週の予定』が出されているので、保護者の方からも明確であるとの評価を得ている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価することによって、課題を見つけ課題解決のために目標や計画を定め、職員間で共有することができた。(詳細は、下記の5—①と6を参照)

5—① H21の課題とH22の評価結果

H21の課題	H22の具体的な取組み結果
安全管理	★H21の課題:職員の朝の動きに改善が必要である。 ☆H22の改善点 ・「8:10の朝礼の後、8:30には全職員ホールに出る。出られない場合は朝礼で言う」取り決めが徹底していた。 ・「朝、担任への電話の取次ぎをしない」取り決めを保護者が協力してくれた。
特別支援教育 <small>(該当しない園は別な課題)</small> 4月は、7名 3月は、9名	★H21対策:特別支援を必要とする子の担当が、スキルアップのために、次年度の目標を「障害児研修会に参加すること」とした。 ☆H22は、1名「障害児研修会」に参加した。研修会の参加は少なかったが、子ども育成課からの専門職員のアドバイスが、教師の力になった。 ☆市の専門職員から、職員が一丸となって支援を必要としている子に取り組んでいるため、成長が早いと評価を受けた。
園に対する保護者の満足度の把握	・年間行事の変更があるときは、アンケートをとる。 ・自由参観日に、保育室の入り口にメモを置いて、ご意見・感想を聞いている。

5—② H22の課題

課題	具体的な取組み方法
安全管理	職員の安全に対する、能力をつけるための手段の一つとして、コミュニケーション力をつける。(危険を感じたら、伝え合うこと)

特別支援教育	特別支援を必要とする園児の受け入れが増えた分、他者の幼児への関わりが少ないのではと言う、評価を受けた。限られた職員の中で、配置を考え配慮していく。
ホームページの活用	月の行事や週の予定は毎週入れているが、写真などの差し替えをこまめに行う。

6. H21年度の学校関係者の評価かから見えてきた改善点と、H22年度の園の評価

<p>①から⑤は H21年度の改善点 ☆は、H22年度の園の評価</p> <p>①旭川天使幼稚園としての「特色ある保育」が、具体的に見えると良い。 ☆我園しかしていない特色は、『おにぎりデー』と『聾学校交流』であることを職員が共有した。</p> <p>②「モンテッソーリ教育」の位置づけが、保護者から見えなかった。 ☆H22年度は、年中が取り組むことを位置づけ、取り組んだ。 ☆4名が、モンテッソーリ教育の研修を受けた。</p> <p>③「特別支援対象の幼児」への対応について、保護者として見えづらかった。 ☆個人情報に関わることなので、見えづらくても良いと思うし、成果は上がっている。また、市の「子育て支援部」の方に評価を受けた。</p> <p>④「ひよこ教室」が園児の増加につながる工夫があると良い。 ☆職員が一丸となって取り組み、年少組との交流を入れる工夫をして、90%「ひよこ教室」から入園した。</p> <p>⑤カトリック幼稚園なので、「宗話」の時間がもっとあれば良い。 ☆行事があっても必ず、宗話を実施し、「週の予定」にも内容を載せた。</p>
--

7. H22年度の学校関係者の評価

<p>改善点</p> <p>①連絡ノートで個人の様子を教えて欲しいという声もありました。 *園の方針:連絡帳は、文章の表現から意思の疎通が難しく、誤解を招くことがあるので、電話で連絡するようにしている。</p> <p>②以前あった小学校での給食体験は、今年は実現されず、子どもにとっても必要であり、親としても実現されなかった事が、とても残念だった。 *園より:2年前、小学校から給食は出来なくなると、申し出があったので今後も不可能。</p> <p>③父母には、モンテッソーリ教育の意味が、浸透していないように見受けられた。</p>
<p>H23年度の課題とした事項</p> <p>★特別支援を必要とする園児の受け入れが増えた分、他者の幼児への関わりが、少ない場面がときより見られた。</p> <p>★ホームページで幼稚園の様子や雰囲気把握して入園する方もいるので、ホームページの更新をして欲しい。</p>
<p>提案事項</p> <p>・お誕生会を教会でお祝いしてくれる幼稚園だと言う事を知らない方も多いためです。 本当に幸せなことなので、たくさんの方に知って欲しい。</p> <p>・天使幼稚園の園児は、とても歌が上手なので、このまま音楽も力を入れて欲しいと思います。</p>

8. 財務状況

- ・大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。
- ・また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間周知されていないので、来年度は、分かりやすく周知する。